

知事と JR 東海・柘植社長との懇談（概要）

長野県建設部 リニア整備推進局

- 1 日時：平成 29 年 5 月 26 日（金） 16:15～17:30
- 2 会場：JR 東海本社（名古屋市） JR セントラルタワーズ（名古屋市）
- 3 知事発言要旨
 - 地域の要望や課題に迅速・的確に対応するため、現地職員の増員などをお願いしたい。
 - 地元への適正な情報提供と丁寧な説明をお願いしたい。
 - 埋立後の安全性や管理方法については、地元地権者の意見、要望等を踏まえて検討するとともに、下流域の住民を含め丁寧な説明をお願いしたい。
 - 信州 DC や飯田線 80 周年事業の取組に、県・地元市町村、JR 東海が一体となって取り組みをお願いしたい。
 - 飯田線の利便性の向上と活性化をお願いしたい。また、木曾地域における課題として、中央西線の利便性の向上もお願いしたい。
- 4 JR 東海側の発言要旨
 - 現地体制については、7 月 1 日の定期異動で飯田の事務所へ 4 人、名古屋へ 1 人の計 5 人を増やし、全体では、43 人から 48 人と体制を強化する予定。工事の進捗に合わせて逐次充実させていきたい。
 - 地元への情報提供については、これまで以上に丁寧な対応をし、地元市町村長や県の事務所と連絡を密に進めたい。
 - 地域の観光振興等には、これからも力を入れてやっていきたい。
 - 飯田線の活性化等については、地元の利用促進をお願いしたい。